

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもセンターゆいまわる		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 14日		～ 2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	226	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	2026年3月6日		～ 2026年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 14日		～ 2026年 2月 17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	94	(回答数) ※同一訪問先で複数の先生が回答の場合がある 99
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもの特性や背景に寄り添った見立て 訪問支援員は作業療法士が中心で、こどもを人-環境-作業の視点で分析し、問題解決ではなくその先の期待や希望に焦点を当てて介入している。 また、言語聴覚士や理学療法士も分析を行い、様々な視点からこどもを捉えている	・社内研修を4月や8月など学校の長期休み期間に取り入れている。また、月2回のケーススタディを行い知識やアプローチを様々な視点から考える時間を設けている。	・今後も引き続き学び続ける
2	安心して相談できる関係づくり	「一緒に考える」姿勢を大切に、先生や保護者の思いを受け止めながら支援を進めている。	・継続してまめに連絡をとりあう ・先生方の状況に合わせたフィードバックの仕方(書面・口頭など)に務める。 ・その場で答えられなかったことについては、後日必ず伝えるようつとめる。
3	チームで一緒に考える支援(連携力)	保護者・学校・園・デイと対話を重ねながら、支援の方向性を揃え、「みんなで育てる」関係性づくりを行っている。	関係機関が参加したくなるような会議の内容の充実を図る。そのために、ケーススタディなどを活用する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お問い合わせ・希望利用人数に対して、訪問支援員が少ない	学校作業療法という新しい領域であるため即戦力となる人材が確保が難しい。 ゆっくりと育成する環境を十分に整えられていない。	作業療法士として学校作業療法を行うことの魅力を発信し、多くの作業療法士等に関心を持ってもらう。 人材育成のカリキュラムのさらなるブラッシュアップを行う。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもセンターゆいまわる
------	--------------

公表日 2026年4月1日

利用児童数226人 回答者数50人 回収 22.10%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	32	4		14		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	39	4	1	6		仕切りをするなどの工夫し、プライバシーが侵害されないような環境設定を行ってまいります。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	49			1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	44	2		4		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	48	2				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	47	1		2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47	2		1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	47			3		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	1		3		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47	1		2		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	47			3		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49			1		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	41	2	1	6		毎月保護者会を実施しております。その内容や日程をわかりやすくお知らせしてまいります。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	48	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	47	2		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	48	2				
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	46	4				
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	47	3					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	46			4		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	48			2		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	45	3		2		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	42	5		3		日々の取り組みや支援の様子についてはSNSを中心に定期的に発信しております。実際の関わりや支援の工夫などもお伝えできるよう心がけていますので、ご覧になって頂けると幸いです。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	45	3		2		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	30	2	1	17		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	1		9		緊急時の対応については契約時のときや説明の場面で丁寧にお伝えし、保護者様にもわかりやすく共有できるように務めてまいります。また、訪問先との連携のもと、安心・安全に配慮した支援体制の継続に取り組んでまいります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	44	1	2	3		
	28	事業所の支援に満足していますか。	46	4			とても満足しています。園の先生からも好評です。	ご意見ありがとうございます。今後も専門性を高めていくために研鑽してまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2026年4月1日	
子どもセンターゆいまわる		訪問先： 94			回収数： 99 ※同一訪問先で複数の先生が回答の場合がある	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	96	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる行動を別の視点から見て、良いところを見つけてくれるので、こちら子どもを見る目が優しくなり落ち着いた心で接することができてとても良かった。 ・園の様子やこちらの思いをしっかりと汲んで、支援に反映させてもらっており、感謝しています。 ・来てもらうのはいいのですが、その後のふり回りの時間が無いので、紙媒体でもデータでもあるといいなと思います。 ・ゆいまわるさんと保護者で定期的に行っているチーム会議の中で、「現段階が10~1のどの段階にあるかを評価する時間」についての提案です。現在は教師側から先に評価を伝える流れですが、保護者から先に評価をしていただける形にしたいと、ありがとうございます。保護者と教師の評価に大きな差がある場合、教師から先に点数を出すと、その後の話し合いが気まずくなってしまうことがあります。より安心して意見交換ができるよう、評価の順番についてご検討いただければと思います。 ・保護者と担任のお話を聞いて、それを踏まえて目指す子どもの姿とそのための手立てを分かりやすい丁寧な文でまとめて下さり提示して下さったので、分かりやすく取り組みやすかったです。 ・参考になるものが多く、実際に取り入れて保育を行ってみました。全てとは言わないけど、できるものから取り入れて行けてます。 ・児童の達成目標の資料を頂くのですが、目標ステップが児童の実態によく合っており、わかりやすく、取り組みやすい！ ・困り感を伝えたら、こういう対応はどうか？とか、今の対応のままでも良いなど。 ・いつもありがとうございます！取り入れやすいアドバイスで実際に試みております。 園の立場もご理解くださり安心してお話ができます。 ・いつも丁寧な説明を有り難うございました ・質問に対しても詳しくアドバイスをしてもらえたので、わかりやすかったです。 ・いただいた助言をもとに、机の上に鉛筆セットのお手本を置いたり、登校時間を早めたりすると、子供が落ち着きました。 ・具体的な支援方法を提案してくださるので、とても参考になっています。 ・児童に合わせた手立てがよかったです！ ・訪問された際に、子ども達の授業中の座り方や困り感を教えて下さり、アドバイスをもらいました。実践した結果、離席が減り、姿勢も良くなる子が増えました。継続していくことで、改善が難しい子も徐々に良くなると思っています。ありがとうございました。 ・訪問の日以外でもアイデアをくれて活用できたことがとてもありがたかったです。 ・わかりやすい助言でとてもありがたい一方で、他児もいるので、援助まで繋がりにくく、申し訳ない気持ちです。 ・取り入れやすい提案もあり、実際、交流学級で多くの児童がいるなかで、とても忙しい中で、困難な(ムリな)提案もありました。そこは、提案の中で出来ることから、できることをやろうと思いました。 ・専門的なアドバイスをいただきながら、児童への対応に役立っている。 ・イラスト入りで説明してくれていて、とても分かりやすかったです。私の言葉足らずな部分や抽象的な表現に対して、わかりやすく言語化をしていただくことがありました。そのやりとりのおかげで、支援方法を振り返り、より丁寧に考え支援実践することが出来ました。 ・その都度質問に的確に教えてくれますが、気付いてくれた事をその場での助言がほしいです。 ・以前園で作成する支援計画などに関して分かりにくい項目がありましたが、具体的な説明をして頂いたおかげでとても助けられました(; ;)ありがとうございます！！ ・あまり助言や説明を受けた覚えがない。 ・気になる点を聞いた時など、優しくわかりやすくその子に沿ってアドバイスをしてくれ助かります。 ・どんな場面で子どもが困り感が出ているか分かりやすい。アドバイスも助かっています。 ・いつも情報交換や支援の方向性を話し合っ頂き、ありがとうございます。 ・定期的に訪問してくれ連携が取れて、相談に対しても丁寧な助言してくれるのでとても助かっています。 	<p>嬉しいご意見ありがとうございます。今後ともわかりやすいと思って頂けるフィードバックや会議での説明を心がけます。また、ご提案していただいた、モニタリングシートの満足度や遂行度の取り方についても、お答えくださる方が負担を感じないようにして参ります。</p>	

2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	96	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の背景にあるその子の特性や世界観に寄り添った解釈を示してくれるので、とても勉強になり、子どもへの理解も深まる。 ・支援シートがわかりやすく、実態把握や実際の支援、小学校への引き継ぎに、大変役立っております。 ・大変満足です。保護者に対する言葉かけや助言が丁寧で分かりやすく、私自身も勉強になりました。なかはらさんありがとうございました。 ・共感することも多くためになることもあるのでありがたいです。 ・作業療法からの評価、視点もあり、身体感覚や空間把握についての児童の支援についても考えることができた。 ・すぐに返答出来ない事もあるが、持ち帰って後日対応してくれることがある。 ・保護者さんに対して専門的な視点を交えて話していただき、日頃、私たちが伝えていってもなかなか伝わらない部分に力を貸していただき感謝しています。 ・子どもの実態に応じた対応策を提示して頂き、有り難いです。 ・絵本を使っでの指導やアドバイスが良かった ・私の知らない視点で観察し、アドバイスをくださるので、視野が広がり、授業改善するにあたってとても参考になっています。 ・担任が気がつかないことや、別の角度(専門的な角度)から児童を見てくれるので、とても勉強になります。 ・さまざまな支援方法や支援ツールについて紹介してもらっている。 ・より専門のアドバイスがあり、対象児の成長が大きく見られた。また、私たち保育者の学びにもなった。 子どものエピソードに対して、「こう感じたかも」「前回とどう変化している」など、見るポイント、気づく部分、視点など、いつも学びになりました。 ・毎月のチーム会議の際、先月の様子を見ながらどの方向からどうアプローチすればより子どもが伸びていけるかを知識を交えた上で分かりやすく提案してくれるのでとても助かっています！ ・知識や技術がどのくらいあるのかよくわからなかった。 ・その都度、対象児に対しての接し方など伺った時、いろんな角度からの視点を教えてくれたためになります。 ・わからない事に丁寧に説明してくれて有り難いです ・専門的な目線で取り組み方や援助の仕方を教えてくれ、園での取り組みも広がっています。 ・自分の保育を客観的に見てもらえて、行動を言語化してもらえると、自分だけの振り返りとはまた違う発見があり、大変勉強になります。
3	訪問支援員は質問に対して、適切・適切に回答してくれていますか。	95	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に回答もありますが、アドバイスもくれるのでイメージとかしやすいです。 ・会議をいつも確にまとめて頂き、会議後の支援の方向性がはっきりします。 ・分かりやすく、伝えていただき、また、こちらの疑問点にも答えて頂き、とても良い。 ・来校した際に声かけさせてもらって話げできた！ ・そのときに答えてもらえるときもあれば、次回の訪問まで待たないといけないうきもあつたが、丁寧に対応してもらえたと感じる。 ・毎回一緒に考えてもらっている。 ・ありがとうございます。 ・質問と言うよりは、学校やデイサービスでの情報共有とかになっているので。 ・相談したことに対して、分かりやすくすぐに現場でも改善出来る。 ・分かりやすく教えてくれる ・質問をしたことがない。 ・お忙しい中でもその様子は見せず、毎回丁寧に教えていただき感謝しています。

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	75	26	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭、デイと連携して、和やかな雰囲気現状を共有して支援や指導の方向性を揃えられるので、負担が軽減した。子どもの成長にもつながった。 ・ 訪問支援をしてからの、子どもの成長や課題面の伸びがすごく、解消・軽減につながっています。 ・ 特性上の行動などについてお話して下さることで理解を深めることができ、とてもありがたく思っています。毎日児童たち関わる中での困り感に対する具体的な支援方法について、より具体的に現実的な支援方法を教えていただきたいです。また、家庭への具体的なアドバイスもお願いしたいです。学校や学童任せの家庭もあるのです。 ・ チーム会議や授業観察後に、対象児童のできるようになったことや、今後の課題を丁寧にまとめてお話して下さるので、とても分かりやすく助かっています。 ・ 本児のペースで成長は見られ、困りごとが軽減されているが、解消には至っていないため。 ・ はいっ！困ってることや課題を聞いてもらえるので、アドバイス貰えて助かっています。 ・ 園内だけでは考えが行き詰まってしまうことも多々で、困っていることを聞いて下さることで新しい角度から支援の方法が見つかることもあります。親身になっていただき感謝しています。 ・ すぐには変化はみられないので、継続した支援をしていきたい。 ・ 保護者にも伝えてもらい連携できた ・ その子の理解にも繋がりが、モヤモヤ感が晴れます。 ・ 悩んだりした時に相談がしやすかった。ただ、園ではなかなか取り組んであげられないこともあったので、解決・解消できたかといわれたら、難しい部分もあった。 ・ 解消、軽減とははならなくても、勉強になってます ・ 複数の視点から児童の様子を捉え、共有した見解を指導・支援に生かすことができている。 ・ まだ数が少ないので、共有し、これから軽減されるかと思えます ・ その子にあった的確なアドバイスを受けることができた。 ・ いつも、こちらの意見にも親身になって聞いてくださったり、アドバイスを頂き感謝しています。 ・ 保護者含めてのチーム会議を通して、課題・進捗が明確になったので、子どもへのアプローチも明確で意識して関わることが出来ました。 ・ 様々な支援児の特性を踏まえた上で対応の仕方を知らせてくれるのでとても勉強になっていると共に、子ども達も楽しみながらいつの間にか課題をクリアしている様子なので感謝しています！ ・ 毎日子どもを見ている担任の方がその子についてよく知っているので、アドバイスしてもらう事がほとんどない。来て下さる方は皆さん良い方だが、制度として小学校には合わないと感じる。 ・ 参考になるお言葉を貰えました ・ 医療機関ともケース会議の調整や同席してくれて感謝しています。直接お医者さんの話も聞けて学校としてできる対策を日々考えて取り組んでいます。お母さんも学校以外に話せる先があり良かったと思います。 ・ 本児の途切れない支援は今後も必要なので、成長に応じた支援と自立を継続的に取り組めたらいいと感じています。 ・ 保護者の気持ちに寄り添い、学校と連携してくれるので、安心して対応することができた。家庭とも同じ方向を向くことができたのは、支援訪問の力が大きい。 ・ 利用児童の今後の支援の仕方、適切な学びの場について、訪問時や電話などと幾度か渡り一緒に考えてくれたり、チーム会議でも各施設、事業所の様子を汲み取り、場をまとめてくださったりと非常に有意義だと感じております。私たちの思いと、利用児童の親御さんの思いとのバランスを取るのは大変なことだとは思いますが、いつも寄り添っていただき感謝しております。おかげさまで、良好な関係を築けています。ありがとうございます。 ・ 普段の保育を振り返り、確認する事が出来た ・ 事業所での取り組み等(活動)も教えていただくと嬉しいです。 ・ それぞれの園のやり方や、方針を尊重してくれているからだと思うが、ズバツと言ってくれたり目から鱗の発見！みたいなのは少ない。でも、それが嬉しい人もいると思うから、難しいはずだけど、私は厳しい気付けさせもほしい。
---	---	----	----	---	---

5	事業所からの支援に満足していますか。	89	3	13	<ul style="list-style-type: none"> ・大変満足しています。いつもありがとうございます！ ・児童や家庭に変化がない。 ・チーム会議を学期ごとに1回、授業観察を1か月に1回としていただいたことで、教師の負担が軽減され、とても助かっています。また、チーム会議の時間も20分と明確に設定されており、限られた時間の中で集中して話し合うことができます。ありがとうございます。 ・いつも、ご丁寧な支援をありがとうございます！時間が短い間なのにたくさんのアドバイスをくれるので、取り入れられることは保育の中で取り入れていき、子どもの成長に繋がって行けるといいなと思いました。 ・訪問予定カードもGOOD！児童を入れた会議も、初体験でしたが、興味深かったです。こちらも色々な可能性があると思います。 ・子どもの育ちに保育士以外の専門分野の知識を知ることができ、保育がやりやすい。 ・職員間でも「次、ゆいまわるさん来るのいつ?」と次回の訪問を待ち構えています。今後ともよろしくお願ひします 毎月数回の訪問だと多く感じます。支援学級の場合は、通常学級の先生との兼ね合いもあり、日程調整等意外と大変です。 ・今後ともよろしくお願ひします ・訪問ありがとうございました。また機会があればぜひお願ひします。 ・児童理解の面で、とても勉強になってます。ゆいまわるさんのサポートで、保護者の安心感が違う感じがします。いろいろと、ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。 ・いつも有難うございます。 ・毎月是多い気がします。回数を減らしていただけたら助かります。また、モニタリングを終えてのシートなどをいただけたらありがたいです。 ・訪問は、月1で、毎回参観した授業の振り返りシートがあればよいと思う。 ・こちらの困りごとに真摯に対応してくださり感謝しかありません ・対象児中心に話を進めるんですが、担任側の立場も汲み取って“対象児が学級にいる中でどんな学級にしたいか”を考えてくれたことがありがたかった。 ・大変勉強になりました！！ ・どの児童に対してもチームとして計画や状況把握・目標などをしっかりと設定してくれるので見通しが持ちやすいです。今後ともどうぞ宜しくお願ひいたします。 ・多忙なスケジュールの中、毎月の訪問やチーム会議本当にありがとうございます！支援児の保育に対して、`どう関われば良いのか、` `支援計画はどう書けば良いのか、` など不安な事も多かったですが、ゆいまわるさんのおかげで、子どもの成長もじっくり実感しながら安心して保育ができていたのでとても嬉しいです！今年もありがとうございました(^^)引き続きよろしくお願ひします～！！ ・正直なところ、小学校教諭にとっては保育所等訪問支援で得られるメリットはほとんどないと思う。正直なところ得られるものより負担の方がずっと大きい。何かもっとWIN-WINな形でこの制度を運用できないかと思う。 ・どんな悩みにも親身に相談に乗ってくださるため、とても助かっています。 ・(その他) 1対1での対応ではなく、2対4など、様々な作業療法士の意見が聞けたらいいと思う。 ・これからも一緒にサポートしていきましょう。宜しくお願いします。 ・継続した、関わりができればありがたいです。 ・いつも様々な視点からのアドバイスなどとても助かっています。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。 ・授業観察の後には、利用している児童のフィードバックを、短い時間でも担任と必ず行うだけでなく、これまでの児童の様子なども併せて教えていただき、利用児童の成長と一緒に感じることができています。 ・保育園での色々な活動時間に訪問してくれ、色々な目線で助言してくれて相談もでき、園内だけで試行錯誤していた事が、専門的な目線から助言してくるので私たち学びが多く、こういうやり方もあるんだなと勉強になっています。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひ致します。
---	--------------------	----	---	----	--

より多くの先生方に温かいご意見を頂き、心より感謝しております。訪問支援を通して、こどもの理解や支援の見通しの深まり、保護者との関係づくりや安心感にも繋がっているとお声を頂き、大変嬉しく思っております。一方で、訪問頻度や支援の活動しやすさについてもご意見頂きありがとうございます。今後は、現場に合わせて関わり方の調整や、よりわかりやすいフィードバック・情報共有などに努めてまいります。また、本人参加の会議についても、現場の先生方と可能性を一緒に感じれたことは大変嬉しく思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 こどもセンターゆいまわる

公表日 2026年4月1日

従業員数 11人 回答者数11人

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	10	0	ある程度揃っているが、もう少し拡充する必要がある。	現場のニーズを踏まえながら、職員間での情報共有や研修を通して、教材の活用を高めていきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3	希望者が増えており、人員が足りていないと感じる。	利用希望者数の増加やエリア外からのご希望も増えている状況のため、今後のニーズに適切に対応していくために、訪問支援員の新たな職員の採用を進めております。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	11	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	11	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	一部共有されているが十分ではなく、改善が求められる。	定期的なケーススタディやミーティングの中で、支援計画の内容や支援方針を再確認し、共通理解を図ります。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1		
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	支援開始前の打ち合わせは毎回全職員で行っているわけではないが、各担当者が支援計画書に沿って個別に支援を進めている。必要に応じてバディや社内でのケーススタディで支援内容を検討したり、複数職員が関わるケースでは事前に情報共有や役割確認を行っている。	ケーススタディの機会を定期的に設け、個別支援の方向性や関わり方について共通理解を深めます。

	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	支援終了後の打合わせは毎回全職員で行っているわけではない。	支援後に検討が必要なことがあった場合には、当日中に職員間で報告・相談を行うことを継続します。また、必要に応じて本社の熟練セラピストからスーパーバイズを受け、支援の振り返りや対応方法の整理につなげていきます。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	11	0		
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	11	0		
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	0	個人単位で実施していることが多く、一部では取り組みが見られるものの、組織的な体制としては十分ではない。特に外部研修への参加機会は限られている。	外部研修の情報を職員間で共有し、計画的に参加できる体制を整備します。また年間の研修計画を立て、職員がバランスよく参加できるよう調整します。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	5	情報をキャッチできていない。	担当者を明確にし、情報収集および参加の窓口を一本化することで、機会の取りこぼしを防ぎます。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	連絡ツールを使用して状況を報告するなど工夫はしているが、対面で話す頻度が少ないと感じる。	連絡ツールでのやり取りに加え、定期的に短時間でも対面やオンラインで話す機会を設定します。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	事業所内で一定の取り組みを行っているが、きょうだい児同士の交流機会や、きょうだい児に向けた支援の場は設けられていない。また保護者支援についても、取り組みの内容が保護者に十分伝わっていない可能性がある。	保護者からのニーズも把握しながら、家族全体を支える視点で支援体制の見直しを進めていきます。現在実施している保護者支援の内容について、各種連絡ツールを活用し、保護者へ分かりやすく周知していきます。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	11	0		
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10	1		
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	0		

	32	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	1		
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	36	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	11	0		
	37	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	9	1	十分とは言えない。	定期的に面談や振り返りの機会を設け、保護者との共通理解を深めます。それが継続的かつ確実に行われるよう、仕組みと運用の見直しを進め、保護者との連携強化につなげてまいります。
	38	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	10	0		
非常時等の対応	39	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		
	40	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1		
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	研修は実施しているが、計画書には記載していない。	主に行動観察や環境調整を中心とした支援であるため、身体拘束が必要となる場面はほとんどないと考えられます。万が一そのような対応が必要となる場合には、組織としての基準に基づき、事前に保護者へ十分な説明と同意を得た上で、個別支援計画に明記し、適切に対応してまいります。